

なえちゃん★ ぼーちゃんの 園研究のはなし

マスコットキャラクター
なえちゃん&ぼーちゃん



みなさま、こんにちは！

ひがしなえぼ幼稚園では、札幌市の研究実践園として幼児教育の質の向上を目指し、同じ研究内容である北区白楊幼稚園と連携しながら、研究に取り組んでいます。今回の『なえちゃん★ぼーちゃんの 園研究のはなし』は、研究副主題『幼保小連携・接続のよりよい推進のために』重点『子どもたちの学びをつなげる』（北区・東区共通）とした研究を進めるための方法の一つである『幼児と児童の交流（環境の交流）』について、今年度4月からの東苗穂小学校との連携について、お知らせします！

東苗穂小学校との交流

玉入れの見学を
通して…



5月体育館で

体育館で1・2年生の玉入れを見学しました。初めて小学校に入る幼児も多く緊張気味の様子でしたが、先生の話聞いて並んだり動いたりしている1・2年生の様子をじっと見ていました。



園に戻って

幼稚園に戻る途中、「玉入れやりたいね。」との声を受け、すぐに玉入れをしました。それからしばらく玉入れは、遊びの定番となりました。かごに入るように投げ方を工夫したり、自分たちでチーム分けをして勝つための相談をしたりするなどして繰り返し楽しむ中で、自然にいろいろなことに気づき取り組んでいました。

その後、小学校グラウンドでの玉入れも見学に行きました。幼稚園とは比べ物にならない広さの中で行われている競技を見て、前は緊張で声が出せなかった子どもたちも、思わず今回は大きな声で「がんばれー。」と応援をしていました。



グラウンドで



9月運動会で

9月、幼稚園の運動会では年長児が保護者との玉入れ対戦をしました。5月に小学校での玉入れを見て、遊びの中でたくさん楽しんできたので、一人一人の技術もアップしています。絶対に負けないと全力で取り組む姿がありました。

小学校の運動会（玉入れ）の取組を見学したことから、子どもたちが意欲的に（主体的）玉入れを楽しんでいました。その中で、チーム分けや投げ方、進め方など色々なやり方を子どもたち同士で工夫して楽しむ（対話的・深い学び）姿につながっていました。



保護者用に玉入れのかごを小学校からお借りして使わせていただきました。

職員で畑起こし・黒マルチ貼りの手伝いです。耕運機の使い方、黒マルチの貼り方を教えてもらいました。



新たな連携として…

東苗穂小学校「太陽農園」の一部をお借りして、ジャガイモ・サツマイモの栽培させていただいています。(環境の交流)その中で、教師同士の連携もありました。

小学校の農園の一部をお借りして栽培するにあたり、畑の準備等で**教師同士の連携**があり、畑のことや栽培物のことなどが話題になりました。

子どもたちは幼稚園よりかなり大きな畑に驚いていました。小学校の先生に植え方などを教えてもらい、**いつもより真剣に聞いて、真剣に取り組んでいたのが印象的**でした。

黒マルチに穴をあけて、年長はサツマイモの苗・年中はジャガイモの種芋を植えました。幼稚園の畑よりかなり大きく驚いていました。



年中はジャガイモ、年長はサツマイモを収穫しました。掘れば掘るほど出てくるイモに夢中になって掘っていました。

太陽農園では、どこに虫がいるのか教えてもらったり、捕まえた虫を見せてもらったりと、1年生と虫捕り交流を楽しみました。

1年生



年長児と1年生の交流

幼稚園のすぐ隣の公園で出会って一緒に遊んだり、小学校の太陽農園で一緒に虫捕りをしたりしました。



1年生と何度か公園などで出会い触れ合い、顔見知りの1年生ができました。初めは**1年生と幼稚園教師の関りから始まり、次第に1年生から幼稚園児へとつながってきています**。これから予定されている交流で触れ合いや関りを積み重ね、それぞれの育ちにつながっていくと考えています。

4月に東苗穂小学校と今年度の連携・交流の進め方について打ち合わせをし、昨年まで少なかった1学期の交流に新たな取り組みをしました。この他にも、スタートカリキュラム時期の1年生や研究授業の参観もさせていただきます。今後の交流の様子も研究通信でお知らせしていきますので、よろしくお願いします。

